

きらめく まちビット

×

平澤宏幸 橋本誉志

地域おこし協力隊(農業支援員)として委嘱(平成25年10月～平成28年10月)され、任期終了後は、名寄に定住し就農された、橋本誉志さん、平澤宏幸さん。2人に名寄での生活や農業のことなどについてインタビューしました。

名寄は食べ物がおいしく、人情味あふれるまち。(橋本)

平澤移住・交流推進機構(JOIN)のホームページで名寄市が新規就農を目標とする地域おこし協力隊を募集しているのをたまたま見つけ、北海道での就農を目指していた私にあっていたので応募しました。

名寄市の地域おこし協力隊に応募したきっかけ、名寄での就農を決めた理由は、橋本実家も農家で、農業をやりたいかったが、実家は兄が継いだため、別のところを探していました。そのとき、北海道農業担い手育成センターで名寄市の農業支援員の募集を知り応募しました。名寄で就農するつもりで地域おこし協力隊に応募したので、協力隊の任期終了後は迷うことなく就農しました。

栽培・収穫しているものは、橋本ミニトマト、カボチャ、アスパラです。野菜は手をかければかけるだけおいしくていいものが採れます。平澤スイートコーン、アスパラ、もち米、カノコソウの4種類です。



▲地域おこし協力隊委嘱状交付式(平成25年10月7日)

就農するために地域おこし協力隊に応募したので、応募のときから名寄への移住、就農は決めていました。

スイートコーンは茹でるよりも、薄皮をつけたまま炭火で焼いた方がおいしく食べることが出来ます。農業の楽しいところ・苦労するところは

橋本自然の中の仕事はとても良いですよ。同じ屋外の仕事で土木作業員もやったことがありますが、それは違った良さがあります。名寄の土はおいしいものが採れますが、私の実家の方と比べると作業工程が全く違うため、なかなか難しいです。年数をかけて習得し、基盤を作っていくかと思っています。

平澤農家の仕事は今のところすべて楽しいです。1年間やってみて、すっかり育てたものを収穫するときに一番楽しいです。

表紙	1
もくじ	2
きらめくまちビット	2 - 3
名寄市職員を募集します	4 - 5
フォトでお知らせ - 広報版 -	6 - 7
名寄市立大学の窓から ～知への誘い～	8
もっと!もち米プロジェクト	9
健康ガイド	10
なよろっばい家づくりの会 EN - RAYホールイベント情報	11
ホワイトマスターを募集します 今月の手話	12
男女共同参画社会の実現をめざして 天塩川だより	13
消費生活センター通信	14
健やかな成長を願って ハロウィンパーティー	15
施設のお知らせ	16 - 18
暮らしのお知らせ	19 - 23
裏表紙	24



平澤 宏幸 (ひらさわ ひろゆき)

昭和63年、北海道厚岸町生まれ。平成25年、単身で地域おこし協力隊として札幌市から移住する。平成28年、名寄市風連日進地区で就農する。

■平成25年10月7日～平成28年10月6日
名寄市地域おこし協力隊 (農業支援員)



橋本 誉志 (はしもと たかし)

昭和51年、北海道大滝村(現伊達市)生まれ。平成25年、妻・子2人とともに地域おこし協力隊として札幌市から移住する。

平成28年、名寄市風連日進地区で就農する。
■平成25年10月7日～平成28年10月6日
名寄市地域おこし協力隊 (農業支援員)

農家は楽しい。しっかり育てたものを収穫するときに、一番楽しい。(平澤)

苦労するところは、今は農業を教えてくれた寺嶋さんを手伝ったり、手伝ってもらったりしていますが、今は自立した農業経営をしなくてはならないときがくると思っています。そこが、今後苦労するところだと思っています。

名寄の良いところ・悪いところは

橋本静かで、食べ物がおいしく、人情味あふれるところが良いところです。特に、ここ風連日進地区の皆さんは、常に私たちのことを見ていてくれて、困ったときはすぐに来てくれる情に厚い人たちがたくさんいます。しかし、子どもに対しての医療費や交通費などの支援が他の自治体と比べると薄く、学校や保育所が遠いので不便に感じます。

平澤雪が多く除雪に苦労しますが、それ以外に大変なことは今のところありません。

良いところは、名寄の人はみんな良くしてくれます。特に風連日進地区の方々からは、漬物をいただいたり、

実家から送られた魚などを渡したりしています。また、農作業も手伝っていただいたりと、とてもありがたいです。

さらに、地域おこし協力隊の任期中(平成27年4月に結婚しましたが、結婚式・披露宴を挙げられています)でした。地域の方々が企画して、今年8月26日に結婚披露宴を開いてくれました。とてもありがたく、うれしかったです。



▲平澤さん結婚披露宴(平成29年8月26日)

今後の目標は

橋本来年ハウスを2棟建設する予定ですが、夫婦2人でやっているため、規模を拡大し過ぎると大変なことになってしまいます。まずは、確実な農業基盤を作っていくたいです。

平澤12月に第1子が生まれる予定です。子どもの面倒を見ながらがんばっていきます。また、作物のことを毎年勉強しながら、働き手の確保などについて考えていきます。

名寄市民に一言

橋本がんばって作ったうちの野菜をおいしく食べてください。

平澤市民の方が名寄産の農作物や食べ物にふれる機会をつくって行きたいと思っています。そして、多くの方に食のありがたさを実感してもらいたいと思います。
地域おこし協力隊になりました方へ

橋本新規就農は単身では難しいと思います。ご夫婦で来られた方が良いと思います。

平澤名寄市では地域の方が良くしてくれます。いろいろな人の意見を聞いて努力すれば新規就農は可能です。1人でも多くの方が就農してくれることを期待しています。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。